

平成 20 年 3 月 21 日

各 位

株式会社三井住友銀行

ネットバンキング専用外貨預金の為替手数料優遇について

株式会社 三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、平成20年4月1日（火）以降、個人向けのインターネットバンキング・モバイルバンキング（One'sダイレクト（※1））における、外貨預金取引の為替手数料を店頭対比50%優遇します。（例：米ドルの場合 1米ドルあたり1円→1米ドルあたり50銭）

弊行は、平成19年5月にネット専用外貨預金（平日24時間リアルタイムで為替レートを提供）の開始に併せて「為替手数料優遇キャンペーン」を実施し、多くのお客さまにご愛顧いただいております。本件は、ご好評にお応えし、キャンペーン終了後も、為替手数料の優遇を継続することで、さらに多くのお客さまにご利用いただけるようにするものです。

< 為替手数料優遇の対象取引 >

対象者	One'sダイレクト契約者
チャネル	インターネット・モバイル（電話は除きます）
取引内容（※2）	・外貨普通預金の預入、出金 ・パーソナル外貨定期預金の預入、解約（※3）
通貨	米ドル・ユーロ・英ポンド・スイスフラン・豪ドル・NZドル

（※1）三井住友銀行の個人向インターネットバンキング・モバイルバンキング・テレホンバンキングの総称で、契約者数は約830万人（H20/2末現在）。ネットでの外貨預金取引の取扱を平成12年11月より開始。

（※2）新型外貨通知預金《Can》、プレミアム円定期預金、ハイクーポン、資産づくりセット、為替予約は対象外です。

（※3）パーソナル外貨定期預金の満期時のお取り扱いにおいて、「自動継続（利息円貨受取）」、「満期自動解約（円貨受取）」をご選択された場合は、店頭・電話でのお取引と同様の為替手数料（50%優遇されません）が適用されます。

以 上

【外貨預金の留意点について】

- ご検討にあたっては、最新の「商品説明書」を必ずご覧ください。「商品説明書」は当行本支店等にご用意しています。
- 外貨預金には、為替変動リスクがあります。外国為替相場の動向等によっては、払戻し時の円貨額がお預け入れ時の円貨額を下回るなど、「元本割れ」が生じるリスクがあります。
- TTS レート（円貨から外貨に替えるレート）と TTB レート（外貨から円貨に替えるレート）には差（米ドルであれば1米ドルあたり2円）がありますので、外国為替相場に変動がない場合でも、払戻し時の円貨額がお預け入れ時の円貨額を下回り、「元本割れ」が生じるリスクがあります。
- TTS レートと TTB レートの差は往復の為替手数料に相当し、相場公表通貨における差は1通貨単位あたり最大16円です。
- 外貨によるお預け入れまたはお引き出しの際には原則、手数料がかかります。外貨現金の場合、相場公表通貨では1通貨単位あたり最大15円（例えば米ドルであれば1米ドルあたり2円）がかかります。送金等その他の手数料については、お取引内容により異なりますので表示することができません。
- その他の通貨における TTS レートと TTB レートの差および外貨現金の取扱手数料は、前記とは異なりますので窓口までお問い合わせください。
- 外貨預金は、預金保険の対象外です。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- インターネットバンキング・モバイルバンキング・テレホンバンキングでの外貨預金取引は、20歳以上の方に限ります。